

◆高付加価値成形品へのアプローチ——失敗と成功事例に学ぶ

間違いのない加飾方法の選び方・使い方

——高付加価値成形品を得るための金型・成形技術の課題

- 製品設計、材料、金型技術、成形技術とその実際——豊富な実務経験から最適成形品を伝授！
- プラスチックの性質や作り方を覚えておきたい

*プラスチック外装ハウジングや部品の外観表面の高品位化における表面加飾、高機能化、高転写技術の最新技術と成形不良対策のための各種テクニックを、成形事例を交えてわかりやすく解説。

- ・開催日時 平成 30 年 9 月 7 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場 きゅりあん（4 階第 1 グループ室）東京都品川区東大井 5-18-1
- ・参加費 正会員（個人・法人）19,800 円 一般（会員外）24,800 円（いずれもテキスト、資料及び昼食代を含む）

■講師および講義内容

担当講師	講義内容
平成 30 年 9 月 7 日（金） 14 時 00 分～16 時 00 分 I-MEC (Injection-Mold Engineering Consultant) 代表 三瓶 敏久氏 ●講師プロフィール 自動車のティア 1 メーカーで プラスチック、ゴム他成形用 金型設計・製作、成形トライ、 生産技術開発、新工法技術開 発に長年携わる。同社定年退 社後、成形、金型メーカー等 の技術アドバイザーとして活 躍中。	1. プラスチック部品の主な工法と概要 (1) 成形数と工法 (2) 工法別の QCD 2. 高付加価値成形品の課題 (1) 金型の精度と現状 (2) 型構造と耐久性 (3) 成形不良とその要因 ・不具合別要因と課題 ・成形実験と各種データの取り方 3. 高付加価値を得るための型工法などの現状 ・ナノ加工 ・ブリリアントカット ・レーザーシボ ・その他 4. 成形品への加飾法とその課題 5. まとめと将来展望